

# 67. 末梢性T細胞リンパ腫、非特異群及び血管免疫芽球性T細胞リンパ腫に対する移植非適応症例と診断された患者さんの情報を研究に利用することについてのお願い

熊本医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。本研究に関するご質問等がありましたら下記の「問い合わせ先」までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

## 研究の概要

末梢性T細胞リンパ腫、非特異群及び血管免疫芽球性T細胞リンパ腫に対する移植非適応症例に関する多数例の報告はわが国ではほとんどありません。最近、末梢性T細胞リンパ腫、非特異群及び血管免疫芽球性T細胞リンパ腫に対し新しい薬が開発され、保隣適応となっています。再発・難治の末梢性T細胞リンパ腫、非特異群及び血管免疫芽球性T細胞リンパ腫への使用例が増えることが予想されており、これらの新薬を投与することで再発予防できることが期待され、前向き臨床試験が計画されています。海外でも末梢性T細胞リンパ腫、非特異群及び血管免疫芽球性T細胞リンパ腫の症例数は決して多くなく移植非適応症例に限定したものはほとんどありません。データを後方視的解析し、新たな見通しが示されることが期待されます。新薬の影響が少ない時期に発症した症例での新薬治療の適応について参考となるデータを提示します。

## 研究の目的と方法

### 研究の目的

末梢性T細胞リンパ腫、非特異群及び血管免疫芽球性T細胞リンパ腫に対する移植非適応症例に関する成人症例の現状を確認することで新規治療開発における基盤となるデータを構築することを目的とします。

### 研究の方法・対象となる患者さん

2008年1月から2018年4月の期間に末梢性T細胞リンパ腫、非特異群及び血管免疫芽球細胞リンパ腫に対し移植非適応と担当医が判断した16歳以上の患者さん（固形腫瘍や造血器悪性腫瘍後に発症した二次性白血病症例を除く。）について、個人が特定されないように配慮した上でカルテ情報を収集し解析します。

## 本研究の参加について

当該研究にカルテ情報が用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の〔当院の問

い合わせ窓口] までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

## 調査する内容

### 利用するカルテ情報

診断時年齢、性別、診断日、診断病期、PS、病期、最終観察日、転帰、再発の有無、再発日、死亡日、死因、追加治療等

### 情報の管理

情報は、研究代表者機関である九州医療センターに郵送で提出され、集計、解析が行われます。

## 実施期間

研究対象期間：2008年1月1日～2018年4月30日まで

研究実施期間：倫理委員会承認後～2023年7月31日まで

## 研究成果の発表

この研究は、国立病院機構の多施設との共同研究で行われます。研究で得られた情報は、共同研究機関内で利用されることがあります。

## 研究代表者

国立病院機構九州医療センター血液内科医長 山崎聡

## 当院における研究責任者

血液内科 河北敏郎

## 問い合わせ先

血液内科 河北敏郎

TEL: 096-353-6501